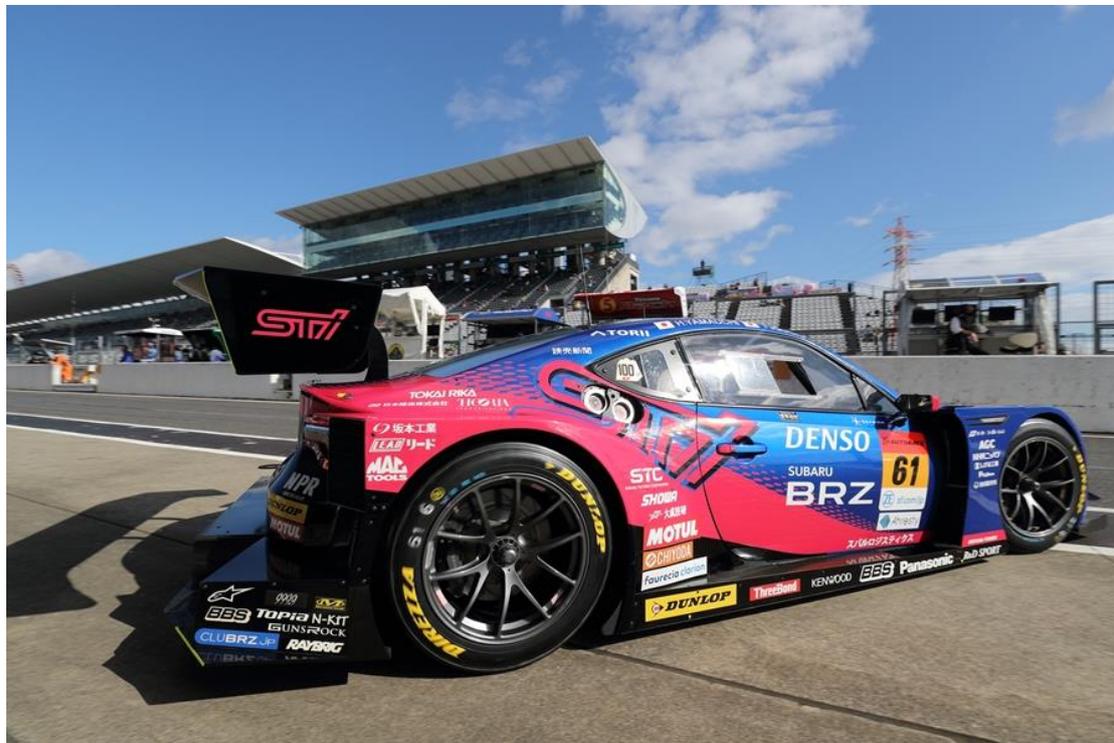


2020 AUTOBACS SUPER GT Round 6 FUJIMAKI GROUP SUZUKA GT 300km RACE

2020年10月24日(土)~10月25日(日)

予選 レポート



場所: 鈴鹿サーキット (三重県) 1周 5,807m

天候: 晴れ | コース: ドライ | 気温/路温 Q1 開始 20°C/28°C Q2 開始 20°C/29°C | 観客動員数: 制限付開催

予選2位獲得

2020年 SUPER GT シリーズは、ここ鈴鹿サーキット(三重県)で第6戦を迎えた。第3戦鈴鹿では高い気温状況に対してタイヤとのセッティングに悩まされたが、午前中のフリー走行で、山内英輝はウエイトハンデ100kgにも打ち勝つ素晴らしい走りでもップタイムを出し、午後の予選に期待が持たれた。

10月24日(土)

<公式予選 Q1/ 14:18~14:28>

第5戦と同様、公式予選 Q1が2組に別れ、それぞれ8位までが Q2に進める。今回は井口卓人が Q1を担当する。井口が計測2周目にアタックに入ろうとした時、他車のコースアウトにより赤旗中断、残り8分間での再開となった。井口は一度冷えてしまったタイヤを巧みにコントロールし、1分57秒666のタイムを出し



www.rdsport.net

Q1を5位で通過した。

<公式予選 Q2/ 15:13~15:23>

Q2は山内英輝が担当する。山内は更にセットアップの進んだウエイトハンデ100kgの SUBARU BRZ を巧みにねじ伏せ、計測2周目に1分56秒076のタイムをたたき出しトップに立つが、最終的にNo.96 RC Fに奪われ、結果予選総合順位は2位となる。なお、GT500クラスのポールポジションは#8 ARTA NSX-GT が、GT300クラスは#96 K-tunes RC F GT3 が獲得した。



■本島監督 コメント



今回、午前中の練習走行の時点から路面状況とタイヤマッチングに手応えを感じていましたが、ウエイトハンデ100kgの状況での予選結果は出来過ぎです。ドライバーは勿論ですがチームとしてベストを尽せました。予選2位で、明日の作戦も明確になって来ましたので、チーム一丸となり、BRZ が得意なここ鈴鹿で上位に食い込みたいと思います。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/> 、
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2020/sgt/report/> もご覧ください

2020年10月24日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net